

- 南房総市では、木材価格の低迷、林業従事者の高齢化と後継者不足等により林業施業が全般的に停滞し、間伐、保育等が適切に実施されないことが課題となっている。
- そこで、公益性と経済性を両立できる適正な森林形成を図るという観点から、森林所有者の林業経営意欲を促進するための取組を実施。

□ 事業内容

チェーンソー安全講習会

- ・ チェーンソーによる伐倒作業の基本講義
- ・ チェーンソーによる安全な玉切り作業実習

【事業費】 481千円（うち譲与税481千円）
 （譲与税は、業務委託に係る部分に充当）

【実績】 参加者24名

□ 取組の背景

- ・ 南房総市は50%を超える森林率を有しているため、市民生活において森林の有する多面的機能の発揮が重要となり、森林の適切な整備、維持が必要となっている。
- ・ 森林の適切な整備には、チェーンソーの安全な点検・利用方法、伐採施業にかかる正しい知識の習得が不可欠であり、林家や森林所有者を対象として講習を実施することが必要であった。



(講義風景)



(装備点検)



(実習風景)

□ 工夫・留意した点

- ・ 実践的な講習にするため、座学だけでなく実習面を充実させようと工夫した。単にチェーンソーの使い方だけでなく、安全装備の点検・装着や刃研ぎ等の手入れの仕方等、きめ細かな講習をおこなった。
- ・ 初心者にとっても、自己流でチェーンソーを利用している人にとって有意義な講習となるよう工夫した。DVDを用いた一般的な解説に加えて、講師の経験談等ユーモアを交えて講義をすることによって理解の促進を図った。

□ 取組の効果

- ・ 倒木の処理に困っていた参加者や所有する森林の手入れ、枝払いを考えていた参加者に対して、自ら処理をすることに挑戦する機会を提供することができた。
- ・ 薪ストーブ用の木を伐採したいと考える参加者もあり、森林整備のみならず、森林資源の活用推進という観点からも有意義な講習となった。
- ・ 我流でチェーンソーを利用していた参加者に、基本的な使い方を指導し安全意識を改めて持たせることで、適切な森林整備を実現する上で必要な技能を養い、意識を芽生えさせることができた。

◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：27,917千円	②私有林人工林面積（※1）：4,049ha
③林野率（※1）：53.5%	④人口（※2）：35,831人 ⑤林業就業者数（※2）32人

* 1：「2020農林業センサス」より、* 2：「R2国勢調査」より